

岩手県食育推進計画に関する施策の進捗状況（平成 30 年度）【総括】

Ⅰ 主要指標の進捗状況

施策区分	主要指標	基準年度 (H26)	目標年度 (R2)	H30 実績
Ⅰ 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進	朝食を毎日食べる子どもの割合 小学校 4 年生	97.4%	100%に近づける	96.5%
	中学校 3 年生	92.0%	100%に近づける	89.1%
	高校 3 年生	88.0%	100%に近づける	84.7%
	肥満傾向のある割合 小学校 5 年生	13.7%	10.6%	12.6%
	中学校 2 年生	10.6%	9.7%	11.1%
	高校 2 年生	11.6%	10.7%	11.2%
Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進	食の安全安心に関する出前講座等の実施回数	141 回	150 回	166 回
Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進	地産地消促進計画を策定している市町村の数	13 市町村	25 市町村	27 市町村
Ⅳ 地域に根ざした食育の推進	市町村食育推進計画を策定している市町村の割合	97.0%	100%	100%

Ⅱ 施策毎の取組状況と今後の課題

施策Ⅰ 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

(1) 取組状況

- ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、「本県の学校における食育の重要な視点」「カミカミ運動」や「希望郷いわて元気・体力アップ 60 運動」の周知、「食育だより」等を活用した家庭への情報提供等を実施。
- ・栄養・健康づくり関係者に対する研修、全ての年齢層に向けた口腔の健康づくりの推進運動等を実施。

(2) 今後の課題

- ・朝食を毎日食べる子どもの割合は、いずれの学年も、基準年度と比較し、1～3%減少した。今後も児童生徒への指導や家庭への情報提供等、学校・行政・家庭・地域等の関係機関が連携し、食育教室、各種健康教室を通じた取組を継続する必要がある。
- ・肥満傾向のある割合については、いずれの学年も横ばい傾向にあるが、全国平均より高い状況にあり、引き続き、肥満予防の取組を継続していく必要がある。

施策Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

(1) 取組状況

- ・食中毒や健康食品等をテーマにし、リスクコミュニケーションや出前講座等を着実に実施。
- ・食品の安全性に関する情報の周知や、災害発生時の食の安全安心確保に係る取組を実施。

(2) 今後の課題

- ・食の安全安心推進計画の年度目標に基づく指標は達成しているが、今後も引き続き、食の安全安心に関する出前講座等を実施していくとともに、より理解度が高まる対話重視の講座の実施等により、県民の食の安全安心に関する理解を図る必要がある。

施策Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

(1) 取組状況

- ・「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進や、食べ残し抑制等 3 R に係る普及啓発、食の匠の伝承会やイベント等を実施。

(2) 今後の課題

- ・食の安全安心推進計画の年度目標に基づく指標は達成しているが、今後も引き続き、農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進、岩手の食文化の継承や郷土料理の活用等を推進する必要がある。

施策Ⅳ 地域に根ざした食育の推進

(1) 取組状況

- ・食育月間や食育の日、「いわて減塩・適塩の日」や「いわて短角牛学校給食の日」等を活用した食育の普及啓発、「いわて食育応援団」認証制度の創設と企業等との連携、食育推進県民大会の開催や各種コンクールを活用した広報活動を実施。
- ・平成 30 年 11 月時点で、全市町村が食育推進計画を策定。

(2) 今後の課題

- ・研修会の開催等を通じて、市町村食育推進計画の改定、更新を支援する必要がある。